

分析研究課題の募集：JGSS-2015

受付期間：2019年7月～2020年11月まで、毎月25日締切

1. 募集の目的

JGSS 研究センターでは、社会科学諸分野の研究者が温めている研究課題を募集し、それぞれの研究課題を集約した全国調査および国際比較調査を実施しています。今回募集するのは、2015年2～5月に実施したJGSS-2015の分析に関する研究課題です。

本研究センターでは分析を公募することにより、調査データの活用を促進し、実証的な社会研究の発展を目指しています。優れた分析案をご提案いただければ、信頼性の高い調査データを一般公開以前に利用していただけるほか、研究に対する支援も行います。ふるってご応募ください。

2. 調査の概要

- 調査名：JGSS-2015
- 実施時期：2015年2～5月
- 調査方法：面接法と留置法の併用（1人の調査対象者に面接調査と留置調査の両方に回答してもらう形式）
- 調査対象：日本全国に在住の20歳～89歳の男女から4,500人を層化二段抽出。
- 有効回答数（回収率）：2,079（52.6%）

3. 募集内容

ホームページで公開されている調査票等の資料をもとに、JGSS-2015の具体的な分析研究計画をご提案ください。採択された場合には、一般公開前のデータ分析を始めさせていただきます。

JGSS-2015に関してすでに以下の研究課題が採択されています。これらと重複の大きい課題は採択できませんので、ご注意ください。また、過去のJGSSデータと統合して経年変化を分析する課題は募集しておりませんので、予めご了承ください。

すでに採択されている研究課題（2020年8月時点）

課題名	主に分析する設問
JGSSを用いた健康格差の分析	[留]Q12, 15, 42, 72
高齢者の雇用延長と生活の変化	[留]Q15, 61
ギャンプル依存に関する実証的調査研究	[留]Q48
学校の効用認識に関する研究	[面]問 59-5, 62/[留]Q56, 57
教育過剰に影響を与える要因 —出身家庭の階層要因と本人が受けた教育要因に着目して—	[面]問 53～56, 59～61/[留]Q25, 26
既婚女性の就労継続と三世代近居の関係	[留]Q41, 42
職種別にみた外国人労働者の受け入れ意識	[留]Q43～45
職場のパワーハラスメント	[留]Q29
大規模災害発生のリスク認知と原子力政策に対する態度の変化	[留]Q67～72
墓の継承についての意識変化	[留]Q51, 52
1990年代以降の女性の進学行動 —短期大学・4年制大学・専門学校—	[面]問 59, 60, 61/[留]Q25, 26
買い物の不自由と社会関係資本の関連	[面]Q47, F5/[留]Q7, 47, 62, 65, 72
家族構成の観点から家庭介護者のQoLに関する研究	[面]Q39～43/[留]Q12～14, 16～18, 32～35
労働環境が仕事満足度に与える影響	[面]Q3-12, 49; [留] Q29-1, 29-2
日本人の他人に対する信頼とその要因	[留]Q62～64, 66
夫婦の家事分担における規範とインセンティブの関係性についての分析	[留]Q6, 42
所得再分配政策と保守傾向の関連性	[留]Q37, Q49, Q50

すでにJGSS研究論文集などで発表された研究成果

論文タイトル	論文集/JGSS Website
JGSS-2015 および EASS 2014 Work Life モジュールの作成 —プリテストの結果と調査票の確定— http://jgss.daishodai.ac.jp/research/monographs/jgssm15/jgssm15_06.pdf	JGSS 研究論文集第 15 号
学歴に関する調査票の設計問題 —JGSS-2015 の実施を通して— http://jgss.daishodai.ac.jp/research/monographs/jgssm16/jgssm16_01.pdf	JGSS 研究論文集第 16 号

How Does the Presence of Migrants at Worksites Shape Japanese Attitudes toward Migration?: An Analysis Using JGSS-2015 http://jgss.daishodai.ac.jp/research/monographs/jgssm16/jgssm16_02.pdf	JGSS 研究論文集第 16 号
JGSS-2015/2016 から見る教育歴の多様化と働き方 ―出生コーホート間の比較を中心に― http://jgss.daishodai.ac.jp/research/monographs/jgssm18/jgssm18_04.pdf	JGSS 研究論文集第 18 号
日本は「両立支援」型の社会に移行しつつあるか? ―JGSS 累積データ 2000-2015 に基づく分析―	大阪商業大学論集 第 191・192 号が合併号
「JGSS でよむ日本人の意識と行動」：教育と職務内容のミスマッチ (日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』November 2015 No.086) https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/tyousa_gttupou_1511.pdf	JGSS website 時事設問 調査結果速報 http://jgss.daishodai.ac.jp/research/res_result.html
「JGSS でよむ日本人の意識と行動」：既婚女性の就労継続と三世代近居の関係 (日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』December 2015 No.087) https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/tyousa_gttupou_1512.pdf	
「JGSS でよむ日本人の意識と行動」：職種別にみた 外国人労働者の受け入れ意識 (日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』January 2016 No.088) https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/tyousa_gttupou_1601.pdf	
「JGSS でよむ日本人の意識と行動」：職場のパワーハラスメント (日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』February 2016 No.089) https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/tyousa_gttupou_1602.pdf	
「JGSS でよむ日本人の意識と行動」：地域が抱える問題とその未来 (日本政策金融公庫総合研究所編『調査月報』March 2016 No.090) https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/tyousa_gttupou_1603.pdf	

4. 応募資格

大学その他の研究機関の研究者、または大学院生（分野は問いません）

5. 応募方法

応募用紙に、氏名等、研究課題、想定する分析のモデル、研究に関連する参考文献、JGSS データの利用経験、これまでの社会調査の経験を明記して、下記の JGSS 研究センターまで、メールに添付して提出してください。説明のために別紙を追加していただいてもかまいません。なお、共同研究でデータを利用する場合、共同研究者全員が利用申請書を個別にご提出ください。

6. 受付期限及び提出先

- 受付期間：2019 年 7 月～2020 年 11 月まで、毎月 25 日締切で審査
(第 1 回締切 2019 年 7 月 25 日, 第 2 回締切 2019 年 8 月 25 日, ……)
- 提出先：〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10 大阪商業大学 JGSS 研究センター
E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

7. 選考方法と発表

JGSS 研究センターの運営委員会において審査を行います。審査結果は、各締切日の翌月 15 日までに応募者全員にお知らせします。

8. 採択者の義務および JGSS 研究センターからのサポート

- 最初の成果は、JGSS 研究センターで開催する研究会でご報告ください（旅費支給）。なお、大学院生の場合、最初の成果論文は JGSS 研究センターが毎年 3 月に刊行する『JGSS 研究論文集』に寄稿しなければなりません。
- JGSS 研究センターの共同研究者として、嘱託研究員（無給）になっていただく必要があります（大学院生の場合は、JGSS 調査研究奨励プログラムの参加者となります）。

お問い合わせ：JGSS 研究センター（できるだけ電子メールにてお問い合わせください）

Tel: 06-6785-6013 / Fax: 06-6785-6011

<http://jgss.daishodai.ac.jp> E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

分析研究課題の募集：JGSS-2015 応募用紙

A4判で以下の各項目が網羅されていれば、枠にはこだわらなくても構いません。また、必要に応じ、枚数が増えても結構です。応募用紙は、メール添付にて送付ください。(宛先 jgss@daishodai.ac.jp)

氏名：	所属・職/学年：
連絡先住所：	
電話：	E-mail：
所属学会：	

研究課題（タイトル）
想定する分析モデル（分析に必要な変数を明記）
参考文献
JGSS データの利用経験（EASS データを含む）
これまでの社会調査の経験